

口は健康のもと Vol.168

お口の健康 高齢者と糖尿病

糖尿病は高齢者に多く、70歳以上では4割前後が糖尿病、または、その予備軍といわれています。

糖尿病の患者は歯周病になりやすいことが知られています。その理由は糖尿病患者の免疫機能を担う白血球の機能が低下することや、高血糖に伴って糖要求性の高い細菌の割合が増加すること、さらに最近では、高血糖の環境では免疫担当細胞から種々の炎症性起炎物質が放出され、歯周病がより悪化しやすいことが明らかになっています。

歯周病の症状としては ①歯茎がむずがゆい。②歯磨きの際に出血する。③お口の中がネバネバする。④口臭が気になる。⑤歯が長くなった気がする。⑥飲食時に歯がしみる。⑦歯と歯の間に挟まりやすくなった。⑧触ると歯がグラグラするなどの様々なものがあります。歯科医院を受診すると、レントゲン撮影やポケット測定など、歯ぐきの状態を調べます。歯周病の治療には歯みがき指導、歯石の除去、かみ合わせの調整、ブリッジ、入れ歯、インプラントなどの様々な方法があります。

糖尿病の方は歯科医院の受診をおすすめします。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 高橋 昌宏

